



## 私達の活動

私達が住む酒々井町は、他の市町村と同様、生産人口が減少し高齢化が進む中であって、高齢者が楽しく生き甲斐を持って暮らせる酒々井町にするには、町民一人ひとりが心身共に健康に留意し健康年齢を高くすることが大切です。また、健康年齢を高めるには、地域に関心を持ち自治会や住民活動に参加し友人を作り、社会貢献の素晴らしさを実感することも重要です。自宅から一歩出て町内の出来事に関心をもつことによって生き甲斐が生まれ毎日を有意義に過ごすことができます。

NPO法人輝け酒々井まちづくり研究会では、皆様が毎日楽しく過ごすための友人づくりや住民活動団体に参加して頂くため団体紹介や交流活動を行っています。

楽しい町「酒々井」をつくる「まちづくり」に関心のある方、一緒にまちづくりをしませんか。「ご関心の有る方は、是非ご一報ください。」



## 酒々井まちづくり研究所から

酒々井まちづくり研究所主催の第6回“輝く創年とコミュニティ・フォーラム”が、11月11日(日)に中央公民館で町内の多数の自治会やボランティア団体から200人近い人が参加し、盛大に開催されました。

午前中は“人生百年時代を生きる”をテーマに小坂町長を中心に基調鼎談が行われました。

午後の分科会では、町住民が当面する課題に焦点を絞って、「自治会の役割と活性化策について」と「女性の活躍で生まれる輝くまちづくり」をテーマにそれぞれ2件の事例発表を聴いたあとに議論が行われました。

町内で高齢化が進み三人に一人が65歳以上となっている状況の中では、住民の生活に自治会の果たす役割が極めて重要で、自治会の活性化に工夫の余地が沢山残されていることが分かりました。

町全体の活性化には女性の活躍の余地が大きいこと、女性の積極的な参加が幸せをもたらすまちづくりに欠かせない要素であることも事例発表と議論を通じて再確認されました。

## 明治大学マンドリン倶楽部 酒々井に来る



私達の交流活動の一つとして「一流の音楽鑑賞を酒々井で」のコンセプトのもと毎年音楽会を開催しています。今回は、皆様良くと存じの明治大学マンドリン倶楽部をお呼びして演奏会を開催する事が決定しました。

日時：2019年4月21日(日曜日) 場所：プリミエール酒々井

演奏内容 第1部「心に残る日本のうた」 東京五輪音頭、東京ラブソディー、影を慕いて、朧月夜他

第2部「世界の名曲綴り」 ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」、エーゲ海の真珠他

至近になりましたら再度ご案内いたしますので、ご参加宜しくお願い致します。



## 吉祥寺（きっちょうじ）

仏母山金剛吉祥寺は本佐倉字根古谷にあり、中世には佐倉五カ寺の一つに数えられた名刹で真言宗智山派に属し 本尊は摩耶夫人(まやぶじん)です。大同2年(807年)弘法大師が当地を訪れ鎮護国家のため摩耶夫人の霊像を納めて創建したといわれています。文化財として町指定の木造十一面観音立像と民族資料の絵馬百数十枚があり、境内には伝説の魔三郎石、弘法の乳の井などがあります。境内敷地は1075坪あり 平成15年に建て替えられた本堂、庫裏、太子堂、薬師堂などの伽藍が並び由緒ある寺院を是非訪れてみてはいかがでしょうか。



## “酒々井ふるさとガイドの会” 千葉県文化財協会から表彰される

本ガイドの会は、酒々井町中央公民館が平成19年10月に開講した「ふるさとガイド養成講座」を受講したメンバー10名と講師の方3名で平成20年10月に設立しました。設立当初はガイドの仕方などの不安があり、外部のガイド団体の指導を受けたり、お客として他の地域を訪問しガイドを見学するなど全員で努力しました。今となってはいい思い出です。

当初は年間、数十人のガイド要望しかなく会の存続が危ぶまれることもありましたが、今では、公式・非公式の方々を含めると年間千人を超える人たちが本佐倉城跡を中心に訪れるようになりました。このため、平成28年度は、「ガイド養成講座」を開講し現在の会員数は24名に成りました。また、平成29年4月9日、には、本佐倉城跡が「続日本百名城」に選ばれ、今日では全国から旅行会社のバスで本佐倉城跡を訪ねる等、見学者が後を絶たない状況にあります。

今回の表彰は、長きにわたる私達のガイド活動と酒々井町の歴史遺産を大事し、多くの人に広報した努力が、千葉県文化協会に認められ受賞したものとされます。



文化財保護功労者表彰式  
主催 千葉県文化財協会



## 自治会紹介 その1 ネオポリス自治会

ネオポリス団地はJR南酒々井駅の南方向に立地し現在は空き地を残して150世帯余りが居住し、約30年前に設立された自治会は結束が固く春秋の団地内清掃や防災訓練、夏祭りや新年会等活発な活動が続けられている。

結束力の強さの理由は、平成27年までは酒々井町の下水道が接続されていなかった関係で、住民が独自に下水施設管理委員会を作って下水施設を管理してきた経緯があり、この時の管理メンバーのつながりが自治会の強い結束力の源となっているとのこと。自治会の規模が住民相互に面識が持てる大きさであることが会長や役員の適任者互選が上手く出来て活発な活動が維持できる大きな要因となっている。催事の際の住民交流とは別に自治会コミュニティセンターを利用した安価な費用で済む有志の飲み会や団らんの集いも絆の強化に効果的に活用されている。

30年間の地道な努力の成果が根付いた活力に満ちた立派な自治会でした。



ネオポリス自治会コミュニティセンター

## 編集後記

今回からの新企画として、自治会の活性化に役立てて頂くようシスウィッチの紙面で酒々井町の大小39の自治会及び町内会の活動状況を順次紹介していくことに致しました。ご活用ください。

ページ数が4ページから2ページに減りましたが、発行回数を増やしたいと思っています。